

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	2	1		6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	3	2		6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	3			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	3			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティング時に利用者様の状況、状態変化などの情報交換をし、連絡ノートでも確認をしている。送迎の際、ただ送り届けるだけでなく、お伝えできる範囲でどのように一日を過ごされたのかを家族様にお伝えする。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「泊り」を希望される家族様の要望をすべてお聞きするのは困難。本人が望むことすべてが出来るわけではない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員不足の解消をし体制を整える。 一人ひとりの利用者様になるべく望むことが出来るよう、柔軟な対応をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	4		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	1		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	3		6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4			6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
普段の会話から、やりたいこと、やってみたいことを聞き出して実行している。
内容の濃いミーティングを心がけ、発言、振り返りをし、次の対応に活かしている。
したい事とずれないように楽しんでできているかに気を付けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
すべての人の「～したい」が分かっていない。
「～したい」が状況によっては出来ない。
どんなゴールがその方にとって望ましいのか明確でない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
利用者様をよく知り、一人ひとりの「～したい」をお聞きする。
より良いコミュニケーションに心がけ、会話の中に意味がある内容を聞き出せるように接する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	2		5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	2			5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	1	2		5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	2			5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	1	2		5

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎日のミーティングなどで利用者様の体調や気持ちの変化は共有出来ている。 食事、入浴、排泄のすべてにおいて、その人に合った対応で利用者様が出来ることは自立支援のためやっ ていただき、できないところを介助するように徹底している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新規の利用者様は、以前の暮らしがまだ詳しく把握出来ていない。 以前の暮らし方は細かなものの把握をはじめ、努力して知ろうとしているが、明確ではない点も多くある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日常生活を細かく知るよう心がける。 利用者様のちょっとしたサインを見逃さず、得た情報はスタッフ間で共有する。 スタッフ全員がなるべく同じ基準で見られるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	3	1		5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	3			5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	1		5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	3		5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様や家族様から生活スタイルや情報などを集め、職員全員で把握するようにしている。事業所が介入しすぎないようにし、地域などとの関係性が途切れないよう心がけている。特に熊川は地域性が強く、利用者様や事業所で参加できる行事に積極的に参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の中での活動が減ってきている方も多く、関係性が希薄になってきている。民生委員さんやボランティアさんとのかかわりが少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
地域とのつなぎ役になれるよう努める。
民生委員さんやボランティアさんとの話し合いの場を持つ。
利用者様に地域の行事に参加出来るよう、体力、気力を維持していただけるよう支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	1		5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		1	4		5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	3			5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	3	1		5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域の方や関係の深い方との関係性が途切れないような関わりをし、必要に応じて協力を得ている。
 その日、その時に必要な支援に敏感に対応している。
 質の高いミーティングで変化の共有ができています。
 マージャン、ゲートボール、サロン、行事など、ボランティアさんや地域の方とのかかわりを支援している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 通いの回数増と宿泊希望についてすべてを応えられていない。
 柔軟に対応できるための人員を確保できないため、ニーズに合わせた対応が出来ていない。
 ミーティング時に利用者様の悪い変化のみ伝えることが多い。(良い変化の共有が出来にくい)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 悪い変化だけでなく、良い変化も共有するよう心がける。
 通いは定員があるため、訪問などで対応出来ないかを、訪問の質を高めることで改善する。
 体制を強化し、泊まりサービスを適切に利用していただけるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	2	2	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	1	2	4
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	3		5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	2	1		5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
今年度から熊川地区のまちづくり委員会へ参加させていただいている。
サロンや小学生招待行事の開催から地域の皆様に足を運んでいただける機会が増えている。
送迎や訪問時に地域の方にあいさつしたり、声をかけたりして関係性を築いている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
医療機関や福祉用具などの事業所との連携はあるが、その他の機関との連携が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
まちづくり委員会に参加させていただいたことで、地域との連携をより深めていく。
その他のサービス機関とも積極的に連携を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

7. 運営

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		2	3		5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	2		4
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	2		4
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	1		4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域行事の参加や、地域の方とのかかわりを持つよう心がけている。
 意見や苦情があれば積極的に聞き取るようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 要望について反映しきれないことがある。
 登録者以外の地域住民の方の状況や、困ったことになかなか目を向けられない。
 小規模の利点である、じっくり関わることができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 地域の方からの意見や要望を聞ける機会を持つ。
 もっと積極的に地域に出て話をお聞きする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		1	2	2	5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	2	2	5
③	地域連絡会に参加していますか		2	1	2	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2	2	1	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ヒヤリ、ハットの記録には必ず目を通し、同じことを繰り返さないよう取り組んでいる。
リスクマネジメントについては、ミーティング時に各利用者様についてのリスクについて話し合っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
内部研修の開催、外部研修への参加が難しい。
個人的にスキルアップのために勉強したり、研修に行くという努力をしていない。
人員に余裕がなく、業務に追われ研修などに時間が割けない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
資質向上のための研修をし、スキルアップに努める。
外部研修にも参加できるよう時間をとる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 30～17 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	1			6
②	虐待は行われていない	5	1			6
③	プライバシーが守られている	1	4	1		6
④	必要な方に成年後見制度を活用している					※必要な方が おられない
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	4			5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 施設外にも自由に出られる環境で過ごしていただけている。 拘束や虐待は行われていない。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者のプライバシーに関わる話が、建物の都合上、利用者様の近い所で話をしなければならない環境にな っている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
プライバシー保護について配慮をする。 言葉遣いに気をつける。 敬う気持ちを常に持ちながら話す。 活動が減ると利用者様同士のうわさ話も増えるため活動を充実させる。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・事業所の特徴	『笑顔を導く応援団』を理念とし、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様の笑顔を導き出せるようチーム一丸となって運営している。 ひとり暮らし、高齢世帯が多い地域性のなか、通い・訪問・泊りサービスを組み合わせ、在宅維持に力を入れている。 地域行事や地域交流に積極的に参加し、利用者様の地域との繋がりが途切れないようサポートしている。
事業所名	小規模多機能ホーム ほたる熊川宿	管理者	橋本 朋美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人(包括)	人	3人	人	人	人	人	2人	2人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・訪問などのリクエストが多いと職員が多くいると思うが実際のどのくらいいるのか。 ・自己評価を見せてもらい十分にされているように感じる。 ・外部から見る分には外のことしかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問、泊サービスの希望を受け入れるための人員体制が不十分であったため、体制を充実させ、より在宅での生活を支えられるような運営を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・何処の公共施設であっても用事と目的が無ければ訪ねにくい。 ・入りにくいわけではないが入る用事がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方がより入りやすい環境をつくる。 ・地域と福祉のつなぎの窓口的な役割を担えるよう目指す。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・地域とどんどん関わっていく意向なのか。 ・各種団体から話を持ちかけていくと相談にのってくれるのか。 ・敬老会への参加にスタッフが関わっているのが他では見られず良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会への積極的な参加を目指す。 ・地域の各種団体との関わりを深める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事、敬老会への参加の支援やゲートボールなどの地域交流のサポートをし、地域との関係が途切れないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほたる熊川宿で利用者様を支えつつ、ご近所の方にも利用者様の暮らしを支えて頂けるような声かけをする。 ・何かあればその都度組長への連絡が取れるような体制を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・会議内で気がかりな人の名前は出てくるがその先どうしていくかという具体的な対策までの話にはなかなか発展しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議内で出た気がかりな方の経過を見つつ、必要に応じて地域住民またはほたるが関わっていく方法を検討する。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・熊川地区からは、川、橋で隔てられており台風の時などはどうするのか。 ・公民館で過ごしにくい方はほたるに避難してもらおう。 ・夜間の連絡体制についてどうなのか。連絡して良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間連絡体制がとれている事を周知する。 ・災害時の避難の受け入れ先として地域に周知していくための方法を検討する。